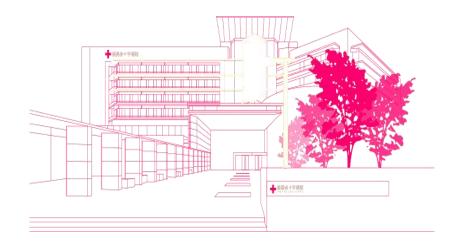
#### 地域で唯一の総合周産期母子医療センターとして 〜姫路赤十字病院の取り組み〜



2021.11.21姫路赤十字病院看護部長 駒田香苗

## 兵庫県姫路市

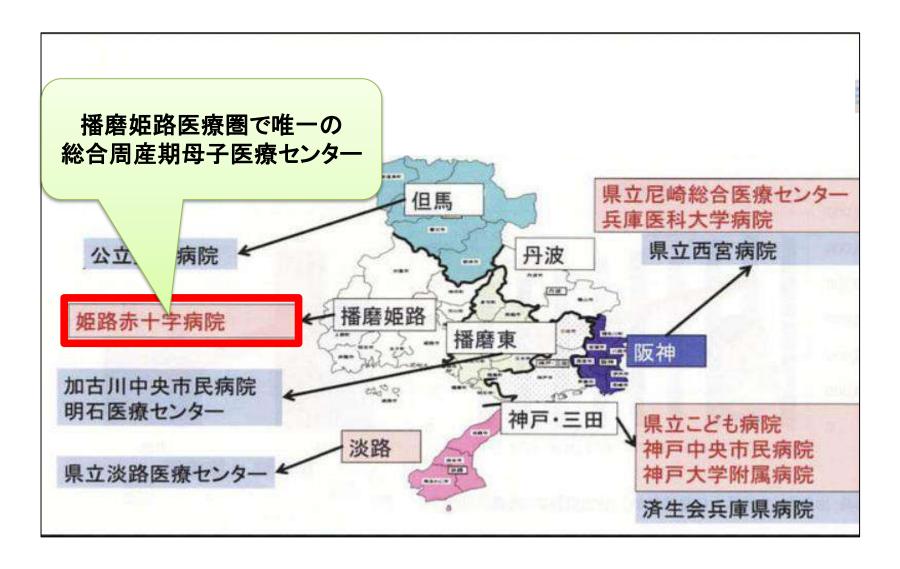


人口:約53万人 高齢化率:26.6%





### 兵庫県周産期医療圏域(7)



#### 施設現況

施設現況			経営指標(KPI)	
施設名	姫路赤十字病院		指標	R2年度
創立	明治41年	※H13.11 新築移転	────────────────────────────────────	1,290人
ベッド数	560床		外来単価	26,964円
診療科	33診療科		入院延患者数(1日平均)	471人
職員数 ※令和3年 11月1日現在	看護職員数 741名 (非正規含) 内訳:看護師 ( 689 ) 助産師 ( 52 )		入院稼働率	84.2%
			平均在院日数	9.6日
			入院単価	83,605円
施設認定	地域がん診療連携拠点病院(高度型) 総合周産期母子医療センター 地域医療支援病院 災害拠点病院 第二次救急医療施設(輪番制度病院) 臨床研修指定病院(医科・歯科) DPC病院特定病院群 特定行為研修指定研修機関 新型コロナウイルス感染症重点医療機関		手術件数	7,630件
			手術単価	556,147円
			重症度・医療・看護必要度	45.6%
			紹介率	91.2%
			逆紹介率	114.7%

特色

1)がん診療 2)周産期医療

3) 小児医療 4) 災害救援



### 自身の学生時代の思い出と 出産経験

- 実習では、パワフルな助産師さんたちの 熱い姿勢を当たり前に見てきた
- ・ 自身も当院で2人出産
- 助産師・看護師に励まされ、痛い所に手が届く技に感動しながら、思い出に残るお産 みんなから、歌のプレゼント
- 産み終えた直後に夫から 「お前も、助産師になれ」と泣くほど感動





## 赤十字医療機関として

- 災害救護活動に向けた組織体制として、 常時7個の救護班を編成
- 編成要員

班長:医師1名

班員:看護師3名

(うち看護師長1名 アドバンス助産師1名含)

主事2名



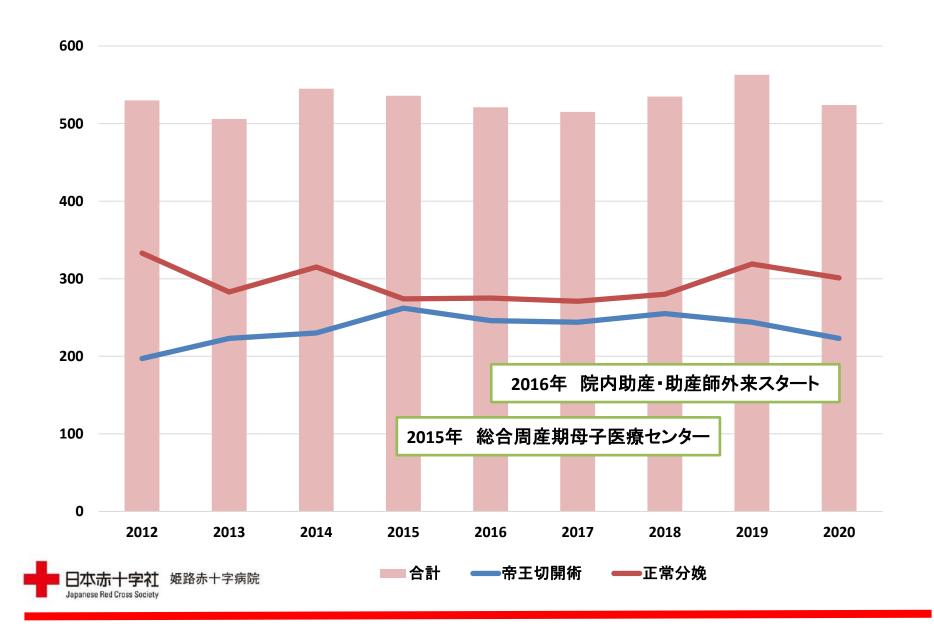


### 2020年度 母子のための地域包括ケア病棟(仮称) 推進パターンへの参加

看護部長1年目に参加当院の「当たり前」を再認識

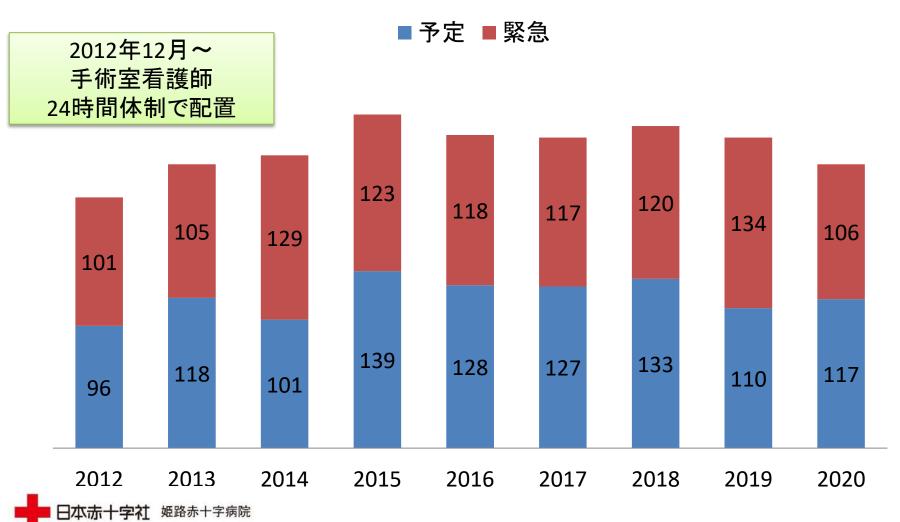


### 当院の分娩数の推移(年)



### 24時間365日 命を守る体制へ

#### 年度別帝王切開術件数の内訳



### 助産師配属状況(小児・周産期関連)

看護部長

看護師

看護副部長4名

助産師1(総合周産期師長兼)

看護師3

助産師合計52人 (パート7人含)

産婦人科· 内科混合病 棟(50)

師長:看護師

係長:助産師1

看護師2

MFICU(6)

師長:助産師

係長:助産師2

NICU (18)

師長:看護師

係長:看護師3

スタッフ:

助産師1

GCU(24)

師長:助産師

係長:看護師3

スタッフ:

助産師1

小児病棟(50)

師長:看護師

係長:助産師1

看護師2

#### 外来

係長:看護師

スタッフ:

助産師3



#### 助産師数の推移

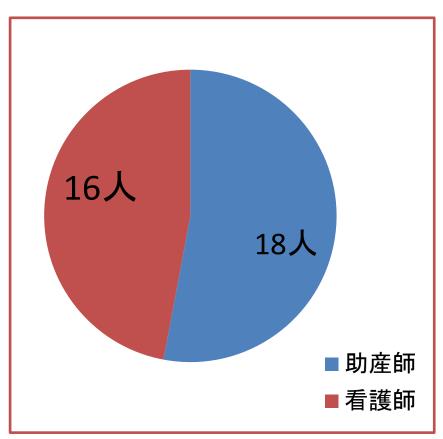


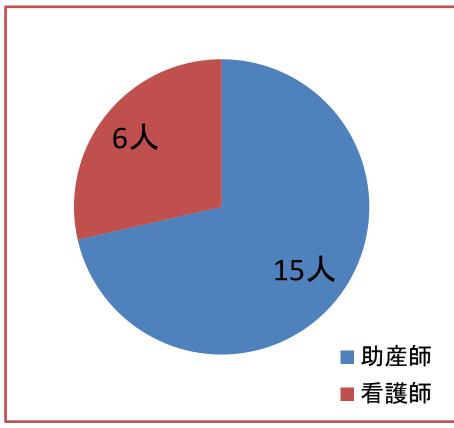


### 看護職の配置状況

産婦人科•内科混合病棟(50床)

MFICU(6床)





### 看護師との協働・役割分担

・ 当院の地域における役割の共通理解と助産師にしかできない業務を理解しながら、ハイリスク妊婦への対応、正常分娩いずれも看護師・助産師で協働





#### 切れ目のない母子支援の取り組み:実施中 🙂

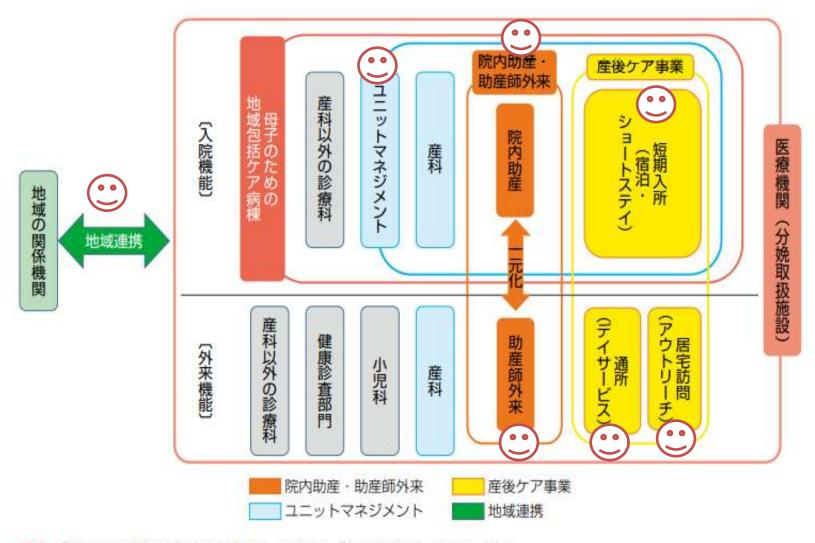


図 2 「母子のための地域包括ケア病棟」における「4 つの機能」のイメージ図

## ユニットマネジメント (内科・産婦人科混合病棟)

- 女性専用病棟
- 産科用の病室の区分を行い、一般患者との 交差をさける
- 内科患者の選択(感染症、認知症、重症患者 などは他病棟へ入院)
- ・ 看護師との協働・役割分担



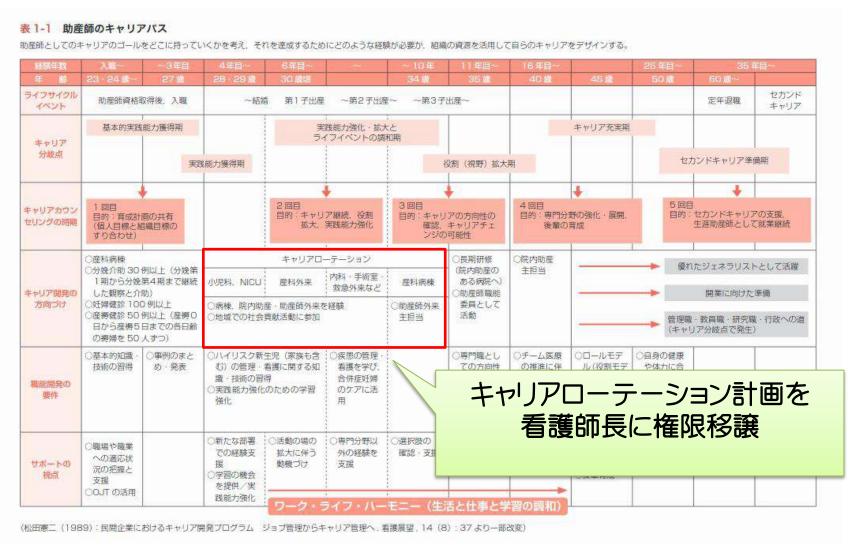
### 当院における助産師の育成課題

- ハイリスク妊婦の分娩が多く、正常分娩が少ない
- 助産学生の受け入れ



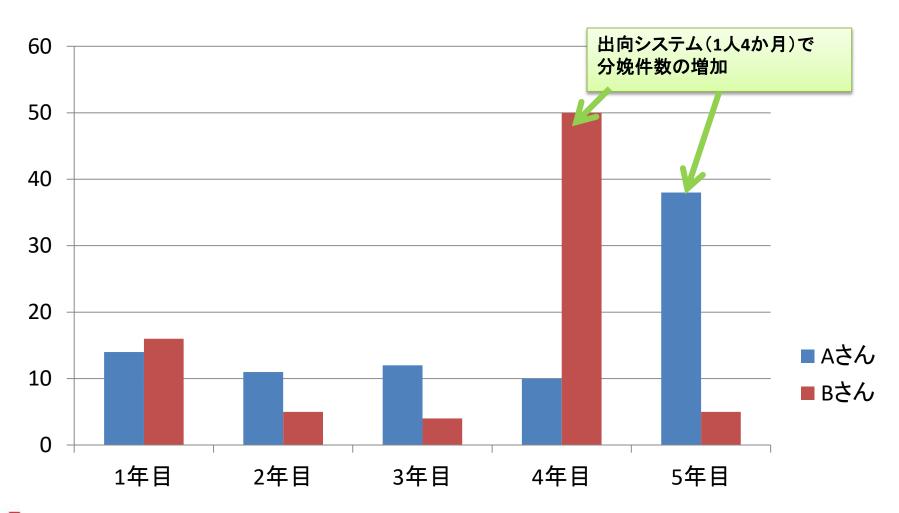
- 経験の浅い助産師の分娩介助回数が少ないため、アドバンス助産師になるために時間がかかる
- 助産師のキャリアパス
- 出向システムの活用

#### 助産師のキャリアパス



2019年度改訂 助産師実践能力習熟段階活用ガイドより

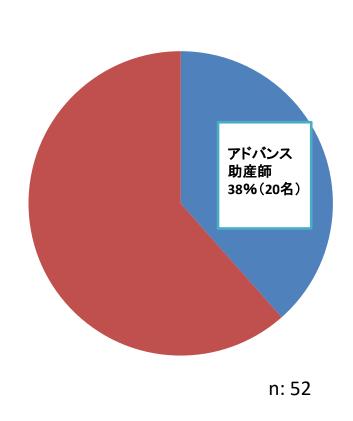
### 経年による分娩介助件数(年)

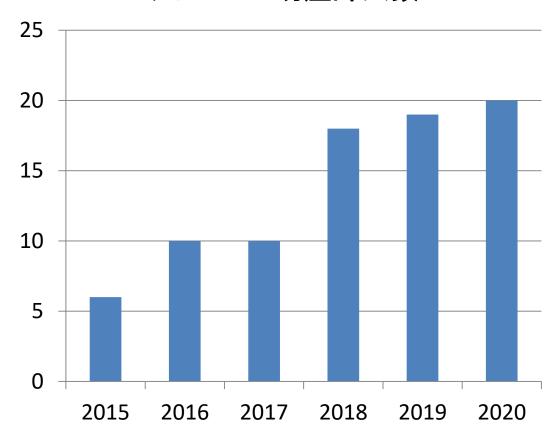




### 当院のアドバンス助産師

#### アドバンス助産師人数

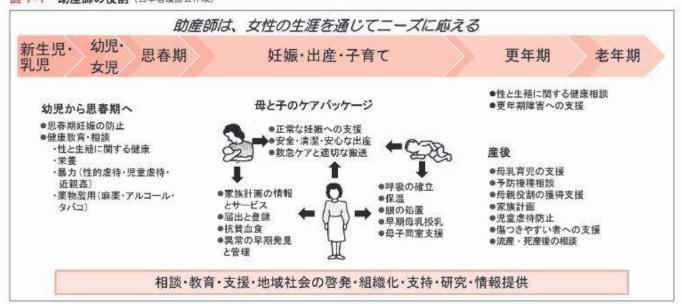




#### 「助産師は女性の一生に寄り添う仕事」

# 当院には、出生から看取りまで経験できる強みがある

図 ]-] 助産師の役割(日本看護協会作成)



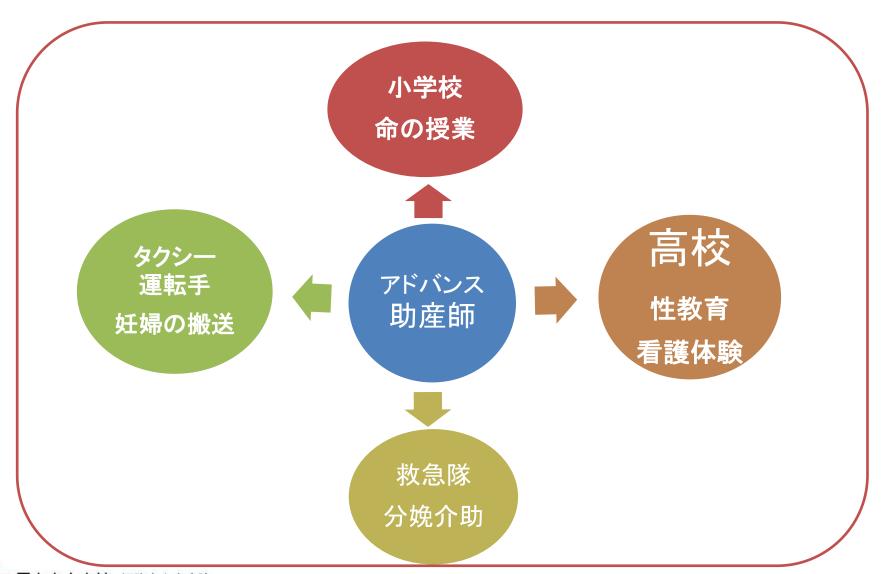


### 助産師キャリアパス実践成果

- ・幅広い疾患を持つ妊婦に対応可能
- ・ 新生児看護を経験する事による母子支援の質向上
- 各自がキャリアプランを立て、専門職として自律
- 後輩育成
- 地域貢献



#### アドバンス助産師による地域貢献



### 参加した生徒の高校の先生より

前略

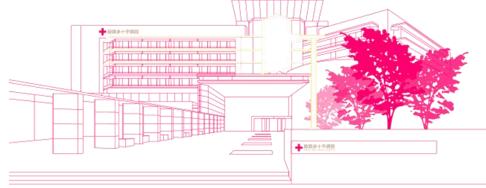
沐浴体験などを通じて、おぼろ気であった 助産師という夢が明確に形になったと話す 生徒もおりました。

貴院で体験させていただいたことは、本 校生徒にとって非常に大きな刺激となり、 彼女らの視野が広がったと感じました。

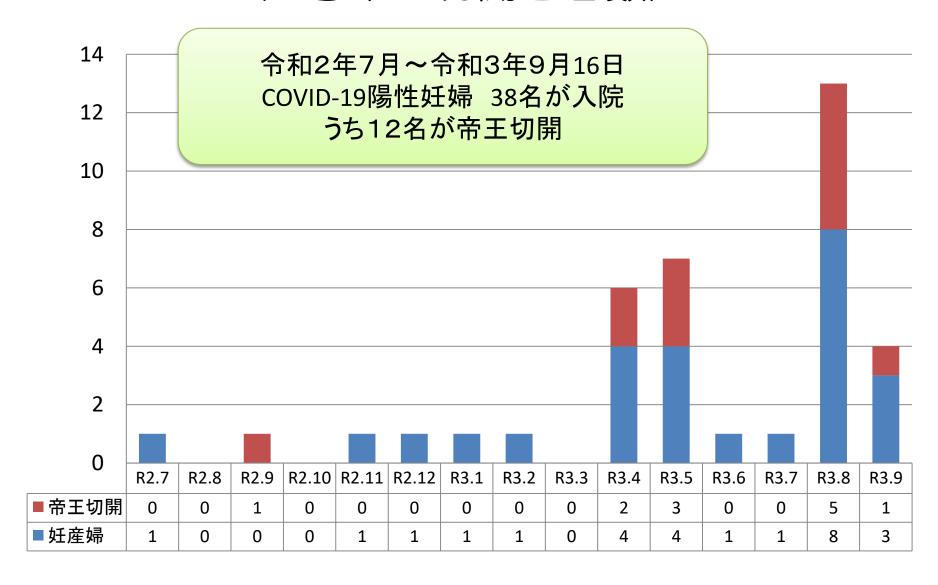
後略

### 地域で唯一の COVID-19陽性妊婦受け入れ施設として

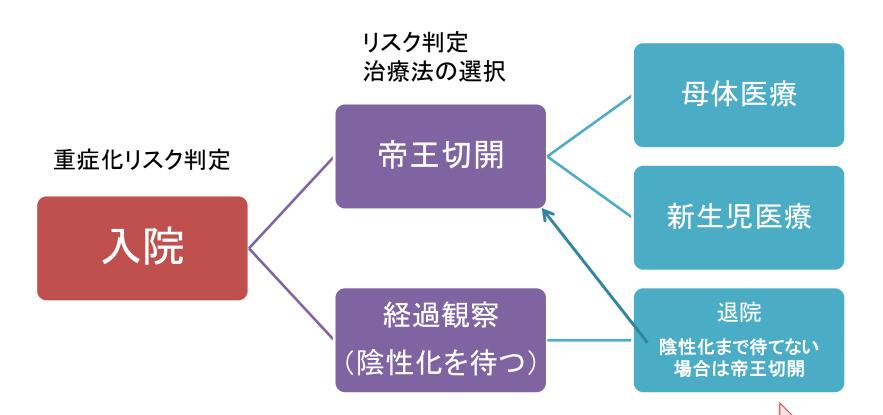




#### 当院のCOVID-19陽性 妊産婦受け入れ実績 (うち帝王切開患者数)



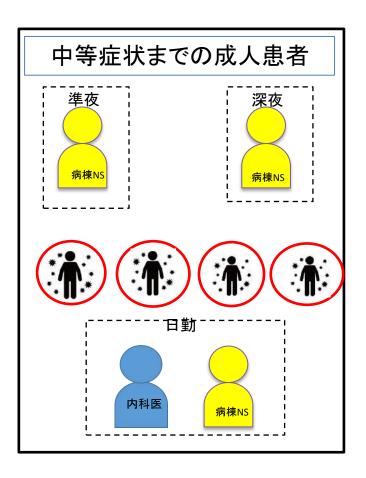
#### COVID-19陽性妊婦 入院後の診療プロセスに関わる **助産師と看護師**

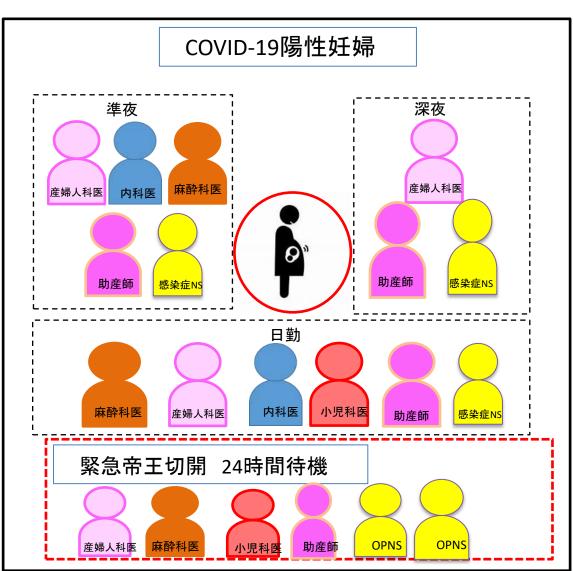


#### 多職種カンファレンスの開催(最低1回/日 必要時朝・夕)

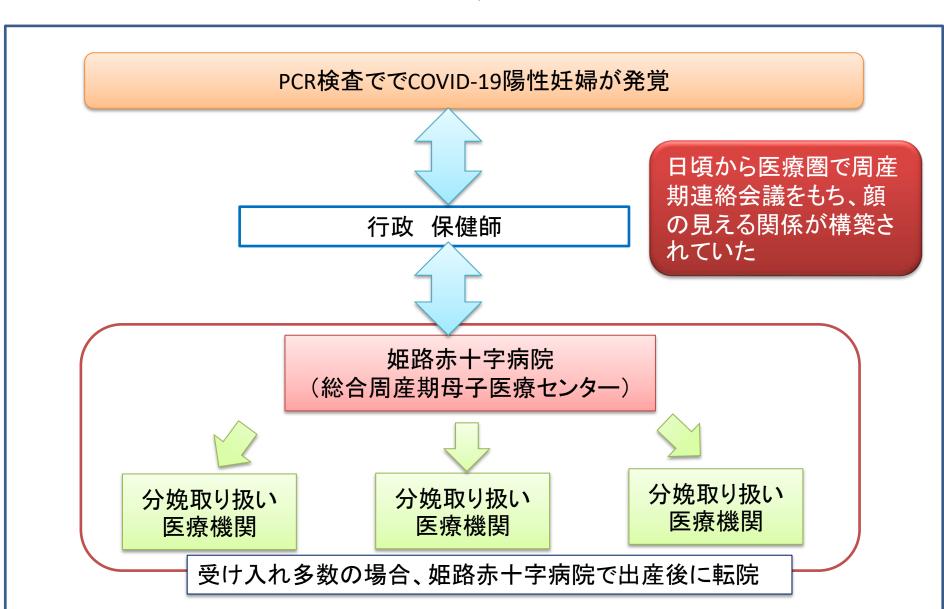
医師(産婦人科•麻酔科•内科•小児科)、感染管理者、**助産師**(病棟)、 **看護師**(病棟•感染症•手術室)

#### COVID-19陽性患者に1日に必要な人的資源





### 地域での役割分担



#### COVID-19陽性妊婦の院内協力体制

産婦人科• 内科混合病棟



**MFICU** 





妊婦の入院があれば、どちらかの部署 から助産師を派遣



状況に応じて 他病棟から 看護師が応援



感染症病棟





姫路赤十字病院

#### 産婦人科部長がホームページに紹介したメッセージ

当院で以前から私が好ましく感じていることのひとつに、スタッフの協力を惜しまない気持ちがあります。

例えば母体搬送等がありますと、**どこからともなく助産師や看護師が自発的に集まってきて協力**してくれ、落ち着いてくると徐々に去って行く、ということが**当たり前**に行われています。私が当院に戻ってきた理由の一つであり、**受け継がれてきた良き伝統**と思います。



## 今後の展望(希望) 切れ目の無い母子支援に向けて

- 地域で最後の砦である事の共通理解
- 当院の「良い伝統」の継承と質向上
- 院内助産の増加
- 24時間体制の構築に向けた助産師の質向上 に向けた支援(キャリアローテーションの推進)
- 行政・地域との更なる連携
- 地域における更なる役割の発揮
  - →産後ケアセンターの設立

機能強化型訪問看護ステーションへの

助産師配属



## ご清聴ありがとうございました



